



PTA広報委員会発行
第127号



「他者の靴を履く」

校長 能登 啓児

三年間に及んだ新型コロナウイルスへの対応が昨年五月に変更となり、多くの制約を受けていた学校生活でも、ほぼ全てで制限のない活動が出来るようになりました。教職員による工夫や何よりも生徒の努力により、教育活動に関してはスムーズな移行が出来ていると感じています。

一方で、これまでマスク越しで相手の表情が読めない状況での会話を強いられ、他者との関わりもある意味希薄にならざるを得なかったことも影響し、「コミュニケーションの取り方や人間関係作りに苦勞する傾向も顕著なようです。」

「コミュニケーションにおいては、このひとはどうしてこういう言動をするんだろう」「この発言にはどういふ背景があるんだろう」と想像する力を持つことが大切です。このような力を「エンパシー」と言います。似たような言葉で、相手の考え

や立場に共感・同意するという意味の「シンパシー」がありますが、「エンパシー」は共感を前提とせず、あくまでも「相手の立場に立つて想像してみる」姿勢を示し、英語表現では「他者の靴を履く」と表現されるそうです。

「ラムニストのブレイディみかこさんは著書『他者の靴を履く』の中で、「時には自分の靴を脱いで他者の靴を履いてみながら、とことん話し合い、本音をふっけ合うことが大切」「自分の靴を履いていない人は、他者の靴を履くこともできない。だから、自分が自分であることを大切にしたい」と書いています。」

周囲の気持ちが見えなくなったりきや自分を見失いがちになったときには、「他者の靴を履く」ことを心掛けたいものです。

一年間のPTA活動へのご支援に心より感謝申し上げます。



卒業に寄せて

PTA会長 池田 亜紀



ご卒業おめでとう
ございます。
新しい春へ向かう
今、どんな気持ちで
しょうか・・・期

待に胸が躍る人も、まだ見ぬ世界へ踏み込む不安な気持ちがある人も、いろいろな気持ちではないでしょうか。

成人として旅立つ新しい環境は、今まで出会わなかった経験の連続かもしれません。

キレイごとだけではない、越えることが困難な壁にもいつかきつとぶつかるときがくるでしょう。でもそんなときは決して諦めないでください。踏ん張って顔を上げてみてください。そして一人ではないことを確かめてください。誰でもいいんです。頑張るあなたを、踏ん張って顔を上げたあなたを必ず見てくれている人がいます。一人でいいんです、見つけてください。そして、大変でしんどいときは頼って寄りかかってください。そうしたら必ずまた前に進む力を取り戻せるはずです。卒業生の皆さんが、自分の人生を豊かに、輝いて歩んでいけるよう、心から願っています。自分を大切に幸せにしてあげてください。そして自分の周りの人も大切にしてください。自分にそれができると信じて歩んでいってほしいです。

保護者の皆様、PTA・後援活動にご理解とご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

校長先生、教職員の皆様、PTA活動を支えていただいた役員の皆様、この丘珠高だより発行にあたりご協力いただきました全ての皆様に厚く御礼申し上げます。

ご卒業おめでとうございます!

3学年主任 笠井 篤司



第47期生の保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。
緑あつて彼らと出

会ってから長くて短い3年という月日が流れました。マスクでお互いの顔や表情が見えない中でスタートでした。相手の気持ちをその表情から推し量ることが難しく、人間関係を作るのも、日常の付き合い合いとても苦労しただろうと思います。でもだからこそ彼らには相手の気持ちを理解しようとする。優しさ。が身につけていると思います。そして最後の1年間だけですが、マスクを外して。本来の。高校生活を送ることができたことは大きな救いでした。とりわけ学校祭で彼らが3年分のエネルギーを爆発させている姿を見ることができたことは大きな喜びでした。

コロナ禍をはじめ、本年元旦に発生した能登半島地震など、天災はいつ、どこで起こるか分かりません。つくづく、平凡な日常。を送れることのありがたみを痛感するばかりです。彼らにはまず自分の命を大切にしながら、人生を一步一步進んでいく欲しいと願っています。これからの長い人生、山あり谷ありかとは思いますが、平凡な日常のありがたみを感じていけば、自然と笑顔が出て、物事の考え方も前向きになるはずです。この3年間で磨いた。優しさ。を武器に。小さなささやかな親切ができる人。に成長してくれたらとても嬉しいです。彼らの人生が幸せなものになることを祈っています。3年間ありがとうございました。

「変化に対応できますか?」

3年1組担任 道下 昇



やっと落ち着いた感はあると思いますが、やはりコロナウイルスの影響を多く受けた学校生活でした。

「パンデミック」という言葉も日本語で広く認知されることになりました。特に、入学した最初の1学年のときには学校生活全般で制限されることも多く、欲求不満もあつたかと思いますが。

世界を見渡すと今現在でも戦争の惨禍にある国や地域がありますが、幸い日本は先の戦争から七十年近く直接戦争をすることなくここまで来ましたが、その七十年でもこのように国民に多大な影響を及ぼす出来事もあるのだと実感しています。正直、私も現代において疫病の大流行など起こるはずもないと考えていました。結局、安易な希望的観測や楽観的な想像を現実が軽く超えるかたちとなりました。

時代は急速に変化しています。地球規模の気候変動やAIの発達など、私が生きている中でゆくりと経験してきたことや未知のことが一気に押し寄せている感じがします。

「強いものが生き残るのではなく、変化に対応できるものが生き残る。」というようなことを、進化論で有名なダーウィンが言っていたかと思いますが、個人の人生でも時代の変化に対応して人生を最適化する努力が必要となります。流れに乗っていれば安心という今までの日本的な考えではいろいろなことに対応できなくなってしまう。

私も含めて、正しい知識を得ての合理的な行動がますます必要となります。このどちらかが欠けても人生を豊かにできないでしょう。たつた一度の人生です、それが豊かなものとなるよう頑張ります。

卒業おめでとうございます

3年2組担任 久保田 歩



最後に、本音の話をしたいと思っています。私は、高校生の頃、国語の授業が大嫌いでした。せつ

くの素敵な作品も、定期考査で「最も適切なものを次の選択肢から選びなさい」という問題になった途端、一気に興ざめてしまつたからです。「この文章はこんな浅い意味ではない! 選択肢が間違っている!」と当時の国語の先生に食つてかかったこともありました。小さい頃から本が大好きで、毎日図書館に入り浸っていた私にとって、大事な大事な本の世界が、「大学に入るために利用する道具」として扱われているように感じたからです。三年間、その屈辱に耐えながら無理矢理受験勉強をし、なんとか受かった大学の、その最初の講義のことで。文学部の教授が、古代中国の小説をプリントで配り、こう言いました。「さあ、この話を自由に読んでください。正解なんてありません。」思わず、涙が出ました。ここに来て、この言葉をもらうために高校三年間の国語の授業があつたのだと初めて理解し、同時に心の中できつり、食つてかかった先生にお詫言をしました。

この三年間、私は皆さんの国語の教員として「最も適切なものを次の選択肢から選びなさい。」という問題を作り、丸つけをしてきました。今度は私が皆さんの土台になる番です。皆さんがこれから先の人生で、選択肢などのない、自由な正解を選んで飛び立てる、そんな時が来ることを祈っています。

旅立ち…思い出と共に

3年3組担任 島田美紀子



丘珠高校に着任し6年、2回目の卒業担任となりました。前回の3年生との思い出を振り返つてみ

ようと思いましたが見つかりません。進路の面接練習をしたことしか出てきません。振り返るとその年は新型コロナに翻弄された1年で3年生が始まりすぐに休校、再開しても分散登校、普通に授業ができるようになって学校祭、体育祭は中止。そのような状況では思い出を作りようがなかったのです。今年の3年生は当時中学3年生。彼ら彼女たちも思い出のない中学3年生だったと思います。それだけに今年度ようやく学校祭が平常開催となったことをはじめ、日常に戻ってきたことが本当によかったと心から思います。

3年3組は行事に強いわけではなく、勉強が得意なわけでもなく、遅刻欠席の少ないクラスでもなく、イマイチぱっとしないクラスだったかもしれません。でも明るく元気で、何事にも楽しみな前向きに取り組むクラスでした。掃除や係活動をちゃんとし、何か失敗しても人のせいにはせず、自分の非を素直に認めることができる正直さが君たちのとてもよいところでした。「高校を卒業した次の世界で通用する常識やマナーを身につける」ことがここまで達成できたかは微妙ですが、1年前よりは成長できたかな。

楽しい1年でした。3組の36人は多分私にとって最後の生徒達になるでしょう。たくさん思い出をありがとう。

卒業おめでとう

3年4組担任 原田 宏明



卒業おめでとう。早いものであっという間の3年間でありました。時間がたつのは早い。君たちも3年間とても短く感じたと思います。

3年4組は明るく元気な生徒が多く、担任としても楽しませて貰いました。子供っぽい男子生徒もいますが、それに比べると女子生徒は落ち着いた雰囲気安心して見ていられました。特に、学校祭

や体育大会では皆が協力して頑張り、大きな成果も残すことができました。男子サッカーは優勝です。

私は社会科の教員なので最後に好きな哲学者の話をします。

私が好きな哲学者はソクラテスです。彼は少し変わっていて、特徴的な容姿で夏冬同じ服を着て、常に裸足であったと伝えられています。晩年には3度にわたるペロポネソス戦争に従軍し、勇敢な兵士でした。この頃のソクラテスは戦争に敗北し、民主政治が衆愚政治へと堕落して、市民が金銭や権力を求めて個人主義になる中で、ソクラテスはアテネ市民として正しい生き方を求めます。それは、「自分の魂をできるだけすぐれたものにすること」、「ただ生きるのではなく、善く生きること」です。そのためには「魂(フシケ)への配慮」が必要であるとソクラテスは述べています。今こそ大切にしなければいけないことなのではないでしょうか。君たちも是非考えてみてください。【善く生きる】。

みなさんとの出会いに感謝

3年5組担任 井上 裕貴



早いもので今年度も終わろうとしています。高校入学から3年間、コロナの影響で満足な学校行事もできず、あらゆる制限のなか、悶々とした生活が続いたと思います。しかし、最後の1年は大満足とはいかないまでも少しはやりたことができた1年だったのではないかと思います。今でも学校祭での皆さんのパワーは忘れません。ほぼ未経験の準備作業のなか、様々なトラブルも抱えながらも必死で完全燃焼したいという気持ちで伝わった学校祭でした。

今年度丘珠高校に赴任し、3年5組の担任を受け持つこととなり、高校生活最後の1年を、私と共有してくださることを嬉しく思います。心を開いて皆と接し、

過去の出来事や先入観で見ないで、その時々のあるまの君たちと接したつもりですが、私は皆さんがそれに応えてくれたなと嬉しく思っています。卒業は別れではなく旅立ちです。これから活躍する舞台は各々変わりますが、丘珠高校で得た経験と、自分の持ち味を存分に発揮して着実に歩んでいってください。皆のことを決して忘れません。本当にありがとうございました。そして、卒業おめでとう！

「贈る言葉」

3年6組担任 佐々木 博章



卒業証書を授与された第四十七期生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様には、三年間、暖かいご理解とご協力をいただきまして深く感謝申し上げます。

さて我が三年六組は、私にとって五回目の卒業担任となります。とても行動力があり、自分たちで考えて物事に取り組める強さを持っており、特に学校祭や体育大会などのお祭り系行事には、こぞとばかりに力を発揮する、パワフルで賑やか、明るく活発なクラスでした。また、勉強の意識も高い者も多く、放課後に残って勉強したり、生徒どうしで面接練習したりするなど、「一緒に合格するぞー」という仲間意識を持って受験に向かう姿も見られました。過去の受け持ったクラスの中でも、指折りのクラスであったと思います。本当に皆さんと出会えたことに感謝します。いつか、成人になったら、一緒にお酒を飲みながら再会できることを楽しみにしております。

さて、この時期になると、学校だよりに担任からの「最後の言葉」を書きますが、やはり「時代は変わっても、人の思いやる心、優しさは変わっちゃいけない」という言葉がなご。今時代は、急激に変化しております。正直、私自身、ついていくのがやっとです。しかし、最後

は「この人たちのために頑張ろう」「困っている人を助けるために、こんな行動をしよう」といった「心」が世の中の人々を笑顔にさせたり幸せにしたりできると私は信じています。近い将来、「あの人、頑張ってるね！」「あの人、あいて助かった！」「そんな声が聞こえるような人になってください。三年間、ありがとうございました。ご活躍を期待しております。」

「卒業に寄せて」

3年7組担任 鹿野 正行



丘珠高校での3年生の担任は、今回で5回目になりました。個人的には、3年生の担任が一番楽しくやりの仕事があります。大人の感覚や常識を身に付けた人が多くなります。学校祭などの行事でも、目標に向かうパワーが違います。普段の学校生活では見ることができない一面を発見できるのも楽しみのひとつです。

3年生は、進路を決める年でもありますが、自分の夢と現実の狭間で揺れ動きながら、経済的な縛りや保護者の意見も考慮に入れて、微妙なバランスを取りながら自分自身で最終的な決断を下すこととなります。

さて、今年の7組ですが、1年間を通して立派だった部分は次の2つかと思われまふ。

「掃除をさぼる人が皆無で、一刻でも早く帰るための努力を惜しまなかった」

「相手のことを考えて、その場にふさわしい適切な対応ができる人が多かった」前半まで立派だった部分は、「欠席、遅刻の連絡が確実に入り、しかも少なかつた」と玉虫色の表現にしておきましょう。

善し悪しはさておき、皆さんから元気をもらいながら担任としての最後の年を無事に終えることができることに感謝しています。お互い元気に過ごさし、またどこかで会いましょう。卒業おめでとう。

第47期生 思い出の日々

授業風景



部活動



見学旅行



体育大会



マラソン大会



見学旅行特集

見学旅行を通して

二年二組 村島 陽菜

私たち二年生は沖縄県に行ってきました。初めて行く場所なので緊張しましたがとても楽しむことができました。

一日目は、沖縄に着いて夕食を食べた後に少し買い物をして終了しました。

二日目は平和学習でした。アプチャガマという場所を訪問しました。もう来ることはできないと思ったのでとても貴重な機会となりました。その後は平和祈念公園やひめゆりの塔など歴史的な場所を巡り、戦争のことを深く知ることが出来ました。その日のホテルはとても綺麗で広々とした場所でした。部屋からは海が見え、ご飯も美味しかったです。

三日目は美ら海水族館見学とマリンスピリットを体験しました。水族館では、ジンベイザメを初めて見ました。マリンスピリットは、バナボートとシュノーケリングをしました。海に潜って魚を見ることも初めてでとても楽しかったです。夜は国際通りで食事し、お土産を買いました。

最終日は首里城の見学でした。お目当ての首里城は工事中でしたが、展望台から沖縄の景色を一望することができました。

この見学旅行を通してクラスの仲も深まったと思うし、思い出たくさん出来て良かったです。

沖縄の戦争と平和

二年六組 曾川 怜愛

見学旅行の二日目は、平和祈念公園とアプチャガマ、ひめゆりの塔へ行き、平和学習を深めました。移動中のバスでは

バスガイドさんが沖縄について語り、さらに「さとうきび畑」を歌ってくれました。

平和祈念公園では、職員による講話を聞き、その後施設を見学しました。講話では、沖縄戦の経緯や特徴などを教えてもらい、見学では沖縄の歴史や戦争に関する展示を見ました。展示には戦時中の写真があり、人が倒れていたり埋まっていたりと戦争の恐ろしさを改めて感じました。

ヘルメットを被り軍手をはめ、懐中電灯を持ってアプチャガマに入りました。ガマの中は暗く、視界が悪かったです。中を探索していると米軍の攻撃によって飛んだドラム缶が天井に刺さっていて吃驚(びっくり)しました。

ひめゆりの塔では、クラス代表として献花をしました。花以外にも千羽鶴がお供えされていて、多くの人が今もひめゆり学徒隊のことを思っているのが分かりました。

ガイドさんやガマの職員さんなどいろんな方から沖縄の戦争や平和のこれまでの道のりを教えていただきました。今回は沖縄にとって大切な出来事について経験することができたので忘れないように生きたいと思います。

見学旅行報告

第二学年主任 水島 敬

丘珠高校四十八期第二学年は、十二月九日沖縄へ三泊四日の見学旅行に行つて参りました。

初日は新千歳空港に集合しました。沖縄までの空の旅は、いよいよ始まる見学旅行に生徒たちの胸を躍らせるのでした。

二日目の平和学習ではアプチャガマ・平和祈念資料館見学、ひめゆりの塔ではクラスごとに献花をして平和を祈りました。

た。

三日目は美ら海水族館見学とマリンスピリットがありました。素晴らしい好天に恵まれてシュノーケリングやバナボートを楽しみました。夕食は班ごとに自由食でした。気の合う仲間と沖縄料理を味わいました。

最終日は首里城を見学後、バス集合時には雨にも見舞われましたが、それも良い思い出になりました。

生徒たちははたらくさんの思い出と抱えきれないほどのお土産を持ち帰ることができたようです。心に残る思い出を作ることができたのも、私たちを送り出してくださった保護者の皆様のおかげです。改めてお礼申し上げます。四十八期第二学年は今回の貴重な経験を今後の学校生活に生かし、さらなる成長と将来の進路実現につなげられるよう努めます。引き続きお力添えくださいますようお願いいたします。



PTA視察研修 北海道ボールパーク

PTA副会長 日向 麻実

令和五年十月十八日、感染症対策も徐々に緩和され、今年度も多くの保護者の方にお集まりいただきPTA視察研修を実施することができました。

今年は、新しく北広島市にオープンしたエスコンフィールド北海道、Fビバレッジの見学・散策を行いました。

初秋の十月ですが暖かくとても気持ちの良い青空が広がる天気です。天井が全開のエスコンフィールドは開放感があり、圧巻の眺望でした。スタジアムツアーは、ファイトスガールの方が案内してくれ、今回は愛称「まなぼん」さん。朗らかな笑顔が印象的なかわいらしい方でした。

試合時には高額なダイヤモンドシート。なかなか入ることが難しいインタビュースペースが併設されたラウンジ。実際にグラウンドに出るグラウンドウォークや選手が試合中に座るベンチ、新庄監督の専用席などツアーならではの特別な場所を見ることができ、貴重な体験ができました。

球場内だけでなく、飲食店やショッピングやアスレチック、様々な体験コーナー、スパなど、いくつもの施設があり、いろんな目的でたくさんの方が楽しめる素敵なところでした。ご参加いただいた皆様それぞれ楽しんでいただけたなら幸いです。

また次回開催もたくさんの方の保護者の方にお集まりいただきコミュニケーションのきっかけになればと存じます。



マラソン大会の お手伝いを終えて

三年二組保護者 林 京子

予定されていた十月六日(金)が前日からの悪天候で先生方の早い判断で一週間延期が決まりました。翌週十三日(金)当日は先生方の判断が功を奏し最高気温22℃予想の晴天となり、モエレ沼公園でのマラソン大会が行われました。私にとっては一番下の息子の成長した姿を観る高校生活最後の行事で、給水活動に参加させていただき感慨深い特別な想いがありました。毎年たくさん保護者の皆様に参加されており、特に今年は保護者Tシャツを着用して「こころ一つ」で、お手伝いが始まりました。

一生懸命に走る子供達を応援しながら胸がいつぱいになりました。ゴール後、スポーツドリンクを手渡すと疲れながらも笑顔で深々とお礼を言ってくれる姿が多く見られ、早朝から準備で寒かったのですが給水活動に参加させていただき、本当に良かったと思います。

マラソン大会を開催するにあたり準備してくださった先生方、PTA役員の方々、保護者の皆様、大変にお疲れさまでした。

普段なかなか見ることが出来ない我が子の様子をお手伝いを通して観る良い機会となりました。是非、一人でも多く給水活動に参加されよう強くお勧めします。



高校生と語るつどい事業 に参加しました

PTA副会長 平 知子

インフルエンザの猛威による学校閉鎖が明け十一月二十五日、札幌白陵高等学校において北海道高等学校PTA連合会石狩支部主催の「高校生と語るつどい事業」が行われました。

当日はシーズン初めの大雪と真冬の日の中、白陵・東豊・厚別・野幌・丘珠の五校より、生徒十三名、教員四名、保護者七名計二十四名が参加しました。NEO代表の馬場航平氏を講師(フアスターター)に招き、「ウイズ・アフターコロナ時代を、自分たちが何をやりたいか?できるのか?」をテーマに、ワールドカフェ方式の形態で、

①5〜10年後、こんなことをしたい
②今、本当はこんなことをしたい
③自分の周りがあるサポート(こんなことがあれば実現できそう)
④5〜10年後の自分に向けて、取り組んでいけそうなこと
の4ラウンド毎に席替えをしながら、沢山の参加者から話を聞くことができました。

各ラウンドでそれぞれが思ったことを何でも付箋に書いていき、似た言葉をまとめたがら会話をしていきます。どのラウンドでも話の中で一番多かったのが「お金」に関するワードでした。高校生は遊ぶためだけでなく、進学費用や一人暮らしのため、大人も旅行や趣味のためにも「お金」が無いと何もできないとお金の大切さを熱く語り合っていました。

自分の子どもの世代の他校の生徒と話すという、経験のできないことに参加させてもらい、有意義な時間でした。



部活動報告(支部大会他)

【野球部】
令和5年度秋季北海道高等学校野球大会札幌支部予選Bブロック1回戦 丘珠 0-13 札幌日大

【陸上競技部】
令和5年度特別市民体育大会陸上競技大会北海道選手権大会
女子 100m 予選敗退 13-39 武田 唯
第55回北海道高等学校体育連盟札幌支部新人陸上競技大会
男子 5000m 9位 17-36-73 小室 博
第55回北海道高等学校体育連盟札幌支部新人陸上競技大会
女子 200m 準決勝敗退 30-02 坂野ひなた
第55回北海道高等学校体育連盟札幌支部新人陸上競技大会
男子 走高跳 8位 1m65 菅原大貴
第55回北海道高等学校体育連盟札幌支部新人陸上競技大会
男子 走高跳 11位 1m60 泉山圭司
第39回北海道高等学校新人陸上競技大会
男子 走高跳 予選敗退 記録なし 泉山圭司
第39回北海道高等学校新人陸上競技大会
男子 5000m 決勝2回7位 17-01-93 小室 博

【男子バスケットボール部】
2023年度札幌地区高校バスケットボール秋季新人大会
札幌丘珠 47-51 立命館学院
札幌丘珠 59-75 札幌東豊
札幌丘珠 77-68 札幌東豊
札幌丘珠 39-35 札幌清田
【女子バスケットボール部】
2023年度札幌地区高等学校バスケットボール秋季新人大会
全道高等学校バスケットボール新人大会札幌地区予選会
札幌丘珠 42-102 札幌東豊
札幌丘珠 26-136 札幌東豊
札幌丘珠 0-20 札幌東豊
札幌丘珠 36-88 恵庭南

【男子バレーボール部】
第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会北海道代表決定戦札幌地区予選会
(予選1) 2-0 札幌東豊
(決勝1) 2-0 札幌東豊
令和5年度札幌地区高校バレーボール新人大会
(予選1) 0-2 札幌東豊
第18回北海道高等学校バレーボール新人大会札幌地区予選会
(予選1) 1-2 札幌東豊
(決勝1) 2-0 札幌東豊
令和5年度札幌地区高校バレーボール新人大会
(決勝1) 2-0 札幌東豊
(決勝2) 0-2 札幌白石

【女子バレーボール部】
第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会札幌地区予選会
予選グループ戦 札幌丘珠 2-1 札幌東豊
第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会札幌地区予選会
決勝トーナメント戦 札幌丘珠 0-2 学芸札幌
令和5年度札幌地区高校バレーボール新人大会
予選グループ戦 札幌丘珠 0-2 とわの森
令和5年度札幌地区高校バレーボール新人大会
決勝トーナメント戦 札幌丘珠 0-2 札幌東豊

【男子ハンドボール部】
令和5年度札幌地区ハンドボール競技
札幌丘珠 3-13 札幌東豊
札幌丘珠 2-13 札幌東豊
札幌丘珠 2-3 札幌東豊
札幌丘珠 3-3 札幌東豊
令和5年度第47回札幌支部高等学校ハンドボール新人大会
札幌丘珠 18-28 札幌東豊

『今年度の進路決定状況』

進路指導部長 山中 勇 人

人の参考になればと思います。

今年度の進路決定状況について、二月一日現在で、進学が総合型選抜や学校推薦型選抜を中心に、国立大学一名、私立大学七十三名、短期大学九名、専門学校百十六名が合格しています。また、就職は公務員十三名(延べ人数)、民間就職二十四名が合格しています。一月に行われた大学入学共通テストには十六名が受験し、三月末まで続く一般選抜試験に挑戦します。

上記にある三年生の進路動向とこれまでの卒業生の進路活動を見てきて、「進路実現」に必要な要素などを以下に示しましたので、在校生及び保護者のみなさん

大学・短大への進学においては、一般入試を意識し、さらに入学後の学習にも対応できるように、放課後講習や夏期講習、冬期講習に参加し、模試を受験し、「力をつける」ことをすすめます。その上で、総合型選抜や学校推薦型選抜に挑戦するといった考え方が基本となります。

専門学校への進学では、複数の学校を「見る」「調べる」を行い、比較検討をし、将来性を考えて学校選びを行うと良いと思います。また、自己の考える分野以外にも魅力のある学校がありますので、柔軟性と広い視野をもって進路探究をすることが大切です。

就職については、「応援される人物、応援したくなる人物」であることが重要と考えます。基本としては、欠席・遅刻が少ない、もしくは無い、資格取得が複数ある、校内外の諸活動(委員会活動、部活動、ボランティア活動など)が充実していることなどがあげられます。その上で、明朗、責任感、誠実、清潔感などの「人間性」が問われるものだと思います。このことは、進学における面接などでも共通する項目です。

さて、三年生のみならず、「いよいよ卒業です」。これからの人生はまだまだ長い道のりですが、高校を卒業し、それぞれの進路に進むことは、大きな分岐点となります。人生は選択の連続と言われるます。これからも「より良い選択で、豊かな人生を」。

今年度の進路決定状況
(合格・内定者実人数)

【国公立大学】		【短期大学】	
室蘭工業大学	1	札幌大谷大学短期大学部	3
【私立大学】		札幌国際大学短期大学部	2
北海学園大学	9	光塩女子短期大学	2
札幌大学	9	北海道武蔵女子短期大学	1
札幌国際大学	8	北星学園大学短期大学部	1
北海商科大学	7	【専門学校】	
北星学園大学	6	専門学校	99
札幌学院大学	6	専門学校(看護学科)	4
北海道科学大学	6	【就職】	
日本医療大学	5	民間企業	24
北翔大学	4	公務員	13
北海道情報大学	4	※今年度の数字は、令和6年2月1日現在のものです。	
北海道医療大学	2		
札幌大谷大学	2		
東京農業大学	1		
東海大学	1		
拓殖大学	1		
藤女子大学	1		
星槎道都大学	1		

令和5年度
後期PTA・後援会活動日誌

10月3日(火) 後期始業式
10月13日(金) 校内マラソン大会給水活動
10月14日(土) オープンスクール
10月17日(火) PTA中間監査
10月18日(水) PTA視察研修(エスコンフィールド北海道17名)
10月27日(金) 第2回PTA・後援会役員会・運営委員会(中関反省)
12月9日(土) 見学旅行(沖縄 2年生)～12日(火)
12月15日(金) 第1回役員選考委員会
12月20日(水) 卒業考査(3年生)～25日(月)
12月26日(火) 冬季休業～1月11日(木)
12月26日(火) 開校50周年記念事業協賛会 第2回役員会
1月5日(金) オーストラリア語学研修(4名)～15日(月)
1・2月 スキー授業
2月19日(月) 後期期末考査～22日(木)
2月21日(水) 学校保健委員会
3月1日(金) 第47回卒業証書授与式「丘珠高だより」発行(第127号)
3月8日(金) 第3回PTA・後援会役員会・運営委員会(年度末反省・次年度方針)
3月22日(金) 終業式・離任式

編集後記

広報委員長 鈴木 希恵

卒業生並びに、保護者の皆様 ご卒業おめでとうございます。

これからの長い人生の中で、色々な出来事があると思いますが、沢山悩んで解決していき「一度きりの人生」精一杯楽しんで下さい。

さて、今年一年を振り返ると、「コロナ禍が落ち着き5類となり、様々な行事も以前のように行うことが出来た年だったのではないかと思います。丘珠高校初の沖縄への研修旅行。子供達からの話を聞く限り、先生方のご苦労されていた場面が頭に浮かびました。それも、行事を無事行えたからこそ思い出なのではないかと思いました。引率された先生方、ありがとうございました。PTA活動も、来年度は更に工夫をこらしていきたいと思っています。

来年度といえば「丘珠高校 創立五十年」を迎えます。東区では新しい高校とお話をお聞きしましたが、やはり歴史の重みを感じています。ぜひ皆様も一緒に盛り上げていければと思っています。

最後になりますが、本号の発行で一年間の活動が終了となります。ご協力いただきました、たくさんの方々に心より感謝申し上げます。